

組み立て作業の前に、パーツが揃っているか、パーツリストを参考にご確認ください。

■パーツリスト

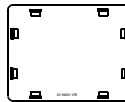
□スピーカー側板(長) 4枚
DS-RAD02-SPL



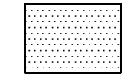
□スピーカー側板(短) 4枚
DS-RAD02-SPS



□スピーカー底板 2枚
DS-RAD02-SPB



□吸音材(高密度ポリエステル) 1枚
※吸音材は1枚を厚み方向に半分に裂いて使用します。



※吸音材は製造ロットによって大きさや形が若干異なる場合があります。

パーツの取り付けは注意事項を確認しながら番号順に行ってください。当基板は「DSP FMラジオ:DS-RAD02(別売)」を組み立てた後でも部品の取り外しの必要なく取り付けすることができます。

DSP FMラジオの組立前の場合は先に組立をして音が鳴ることを確認して基板を取り付けてください。スピーカーの配線取り付け前にスピーカーボックスを組み立ててしまうとスピーカーの配線ができなくなります。

組立

1. スピーカー側板の取り付け

1枚ずつ取り付けると斜めになりやすいので、スピーカー側板(長)(短)、2枚ずつをペアにして取り付けます。

基板を裏面から取り付けます。右図のように「L字」になるようにスピーカー板(長)(短)を基板に差し込んでください。基板の白い線に合わせて真っすぐになるように取り付けます。

1枚の板のハンダ箇所(銀色)を**1カ所だけ仮付け**(ハンダを少な目で取り付け)します。
※ハンダ箇所が合わない場合は上下が逆または裏表が逆です。

板が斜めになっていないか、位置がズレていないかよく確認してください。ズレがある場合はハンダ箇所を溶かして板を動かして微調整してください。

2枚目の板も**1カ所だけ仮付け**して、1枚目ときれいに直角になるように調整してください。(基板の白い線に合うように)

残った対角にある、スピーカー板(長)(短)の取り付け箇所も上記と同じ要領で取り付けます。

最後に、きれいな直角になっていることを確認して、すべての場所(10カ所)をハンダ付けします。

すべての固定箇所をハンダ付けするとスピーカー板を動かすのは困難になります。よく確認してからハンダ付けてください。

スピーカー板(長)は銀色の箇所 3カ所×4(左右含めて)
※中央付近の上側の銀色の箇所は使用しません。

スピーカー板(短)は銀色の箇所 2カ所×4(左右含めて)

要組立 電子工作キット

オプションパーツ
DSP FMラジオ :DS-RAD02(別売) 取り付け例

[パーツ一式]

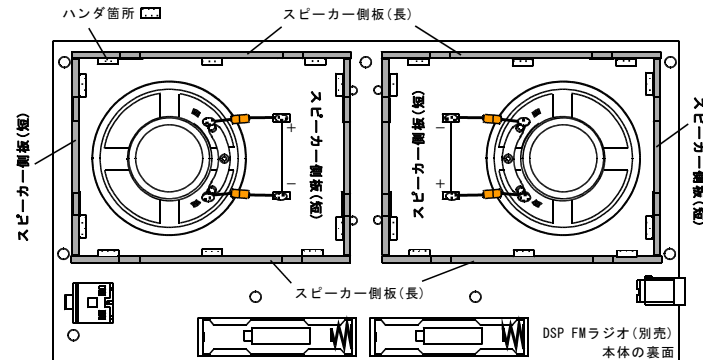
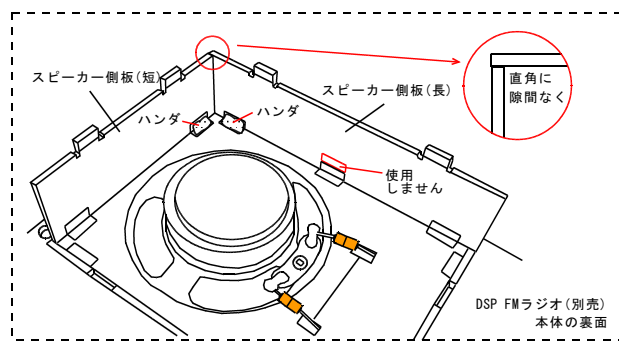
**DSP FMラジオ専用
スピーカーボックス**
型番:DS-SPBOX

■概要
「DSP FMラジオ / DS-RAD02(別売)」専用のオプション基板です。取り付けすることでスピーカーボックスを形成し、**スピーカーの低・中音域の音質を向上**させることができます。吸音材も付いた本格仕様で、スピーカー2個分のセットです。
※DS-RAD02の組立後でも取り付けできます

■仕様
スピーカーボックス部
外形サイズ(1箱) 約W90×D70×H21.6mm

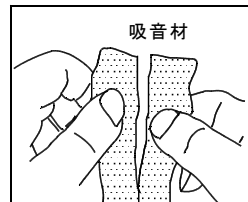
※当製品は単体では機能しません。別途 DSP FMラジオ(DS-RAD02)が必要です

●ハンダ手順
ハンダは基板の銀色の箇所の下面(本体基板)、上面(スピーカー基板)にそれぞれ少しハンダを付けてから**両方同時に加熱**するようにハンダごてを当てて溶かすとうまく上下の基板が接合されます。



2. 吸音材を入れる
ふたを取り付ける前に吸音材を入れます。吸音材は全体にスピーカーの上へ平らに乗せるように配置します。

吸音材は厚みのあるものが**1枚入**っていますので、**半分の厚みになるように真ん中から裂いてください**。(手で簡単にちぎれます)



3. スピーカー底板の取り付け
最後にスピーカー底板を取り付けて完成です。スピーカー底板には裏表の向きがあります。銀色の四角がある面を外側になるようにしてスピーカー側板の出し張り箇所がスピーカー底板の穴に入るように合わせて被せてください。(吸音材は押せば縮みますのでそのまま押し込んでください)

スピーカー側板は少しであれば手で押して曲げることも出来ますが入りにくい場合は、一度スピーカー底板を取り外し、真っすぐになるようにスピーカー側板をハンダ付けしなおしてください。

スピーカー底板の四角の銀色箇所の8箇所をハンダ付けすれば固定完了です。(底板の銀色箇所と側板の銀色箇所をハンダで結合します)

左右同じ要領で取り付けしてください。

※ハンダ箇所は8箇所ありますが、横側に対角に2箇所(矢印箇所)止めるだけでも最小力で固定可能です。ハンダ付けが難しい、後々、スピーカーや吸音材を取り替えることを予定している場合は最小限で固定しておく、はずしやすくなります。

写真と同じようになっているかご確認ください。ラジオの電源を入れて音が鳴れば完成です。



[前面 完成写真]



[背面 完成写真]

ホームページ紹介

<http://prod.kyohritsu.com>

お問い合わせについて
・本製品の規格以外の使い方や改造の仕方についてのご質問にはお答えできません。
・規格以外の使い方や改造による不動作、部品の破壊等の損害については一切補償致しません。
・ご質問は質問事項を明記の上「封書」「FAX」「Eメール」でお願いいたします。
お電話ではお答えできません。(内容によっては回答に時間がかかる場合があります。)

お問い合わせ先 [FAX 06-6644-4448]
[Eメール wonderkit@keic.jp]

ワンダーキット 製品開発・販売元
共立電子産業株式会社 共立プロダクツ事業所
〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1
TEL 06-6644-4447
FAX 06-6644-4448
営業時間:AM9:30-PM6:30 定休日:土日・祝日